

2020年2月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

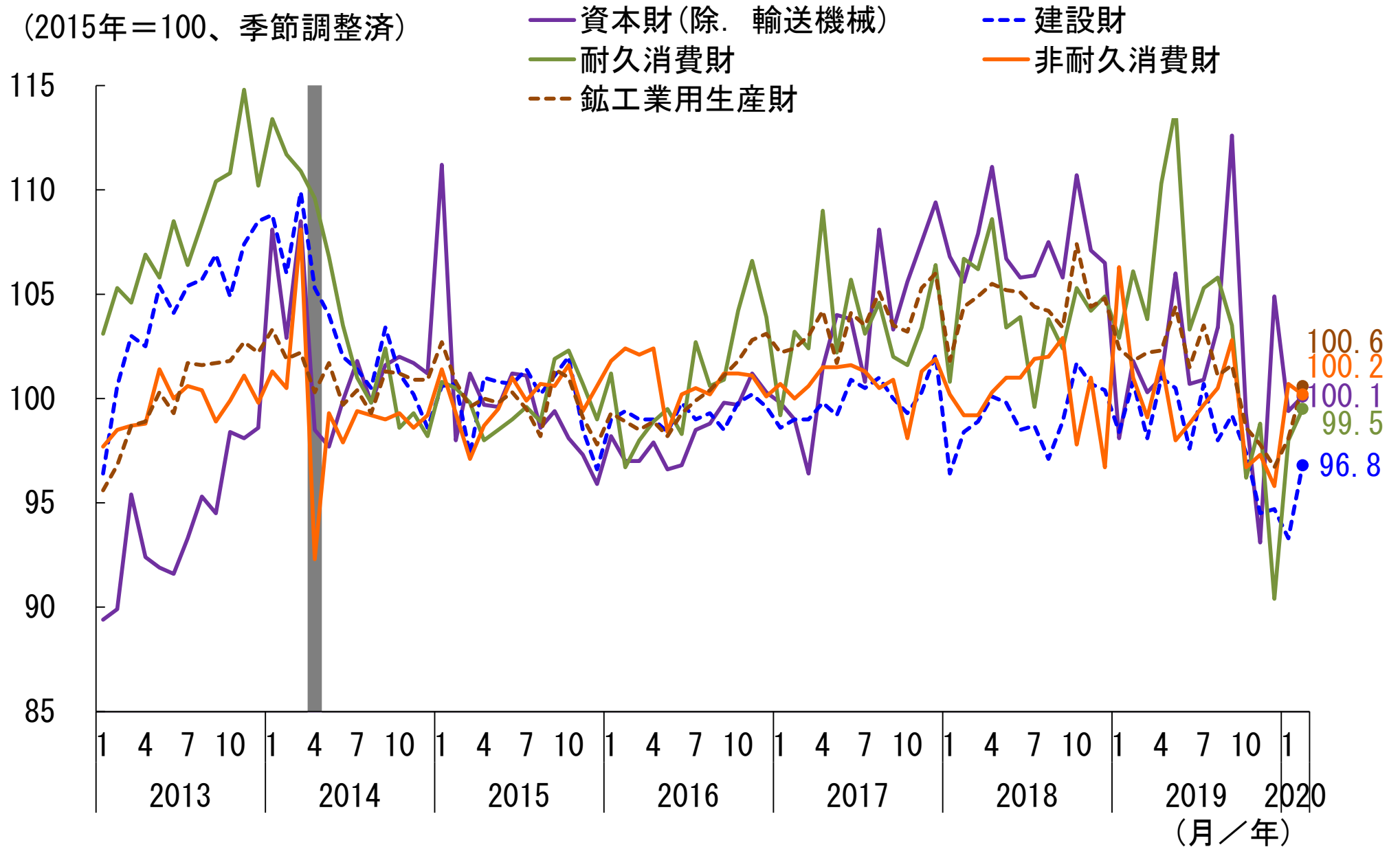
2020年4月7日

経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2020年2月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

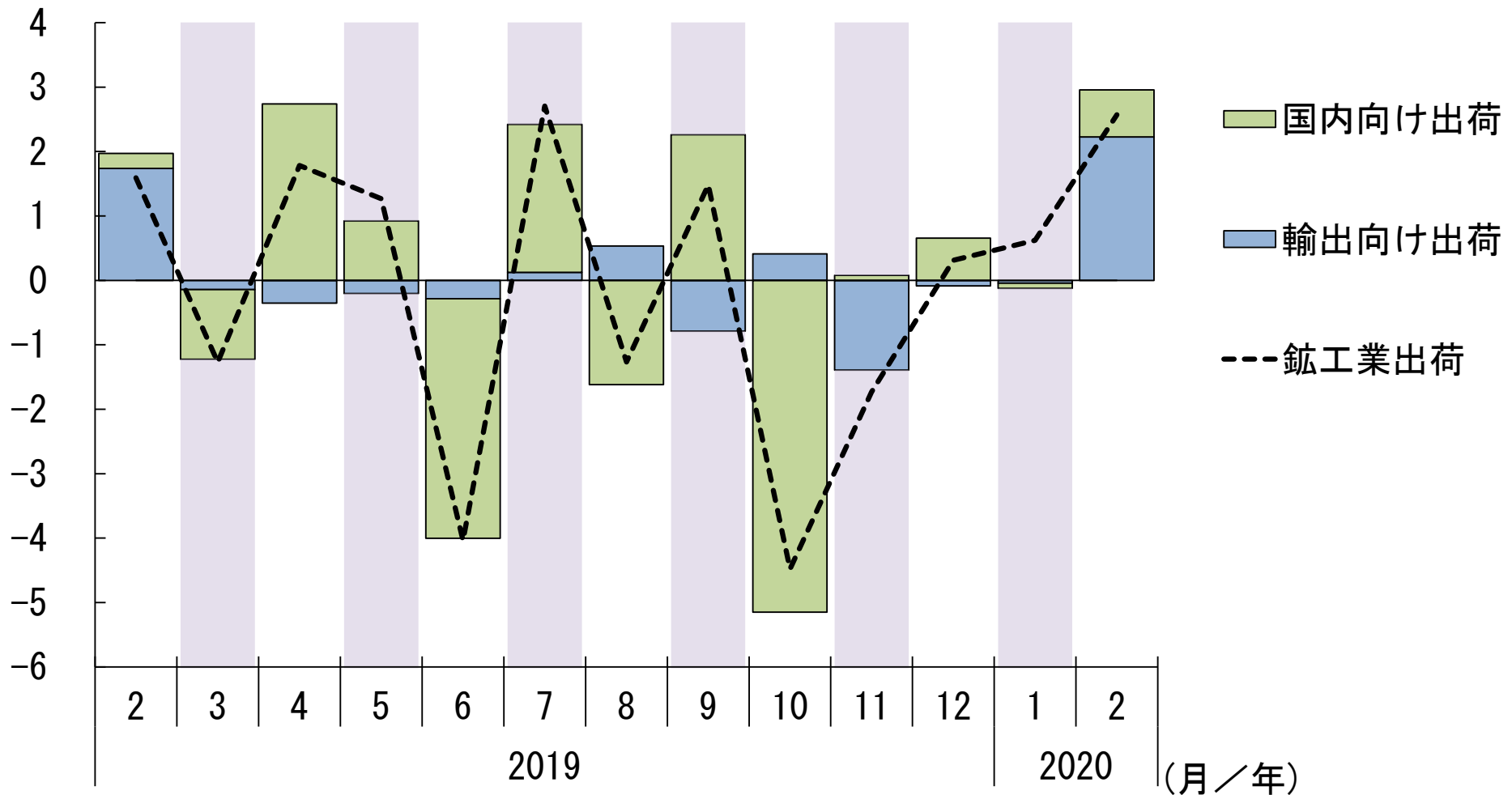
月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	99.8 2.6%	106.2 10.7%	98.1 0.9%
指数水準	2019.9 102.7以来 I 2014.3 105.7 II 2017.12 105.4 III 2014.1, 2018.4, 10 104.4	2019.2 106.4以来 I 2018.6 109.8 II 2018.4 109.0 III 2017.12, 2018.8 108.9	2019.9 103.1以来 I 2014.3 107.8 II 2014.1 106.9 III 2013.12, 2017.12 104.8
前月比の動き	3か月連続+ (2019.12～当月)	4か月ぶり+ (2019.10以来)	2か月ぶり+ (2019.12以来)
前月比幅	2019.7 2.7%以来 I 2015.1 3.1% II 2017.11 3.0% III 2019.7 2.7%	2015年基準最高水準 I 2020.2 10.7% II 2019.2 8.5% III 2014.2 7.2%	2019.9 2.9%以来 I 2014.3 3.6% II 2019.4 3.5% III 2017.4 3.4%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2020年2月の鉍工業出荷は国内向け、輸出向けともに上昇したため、前月比2.6%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

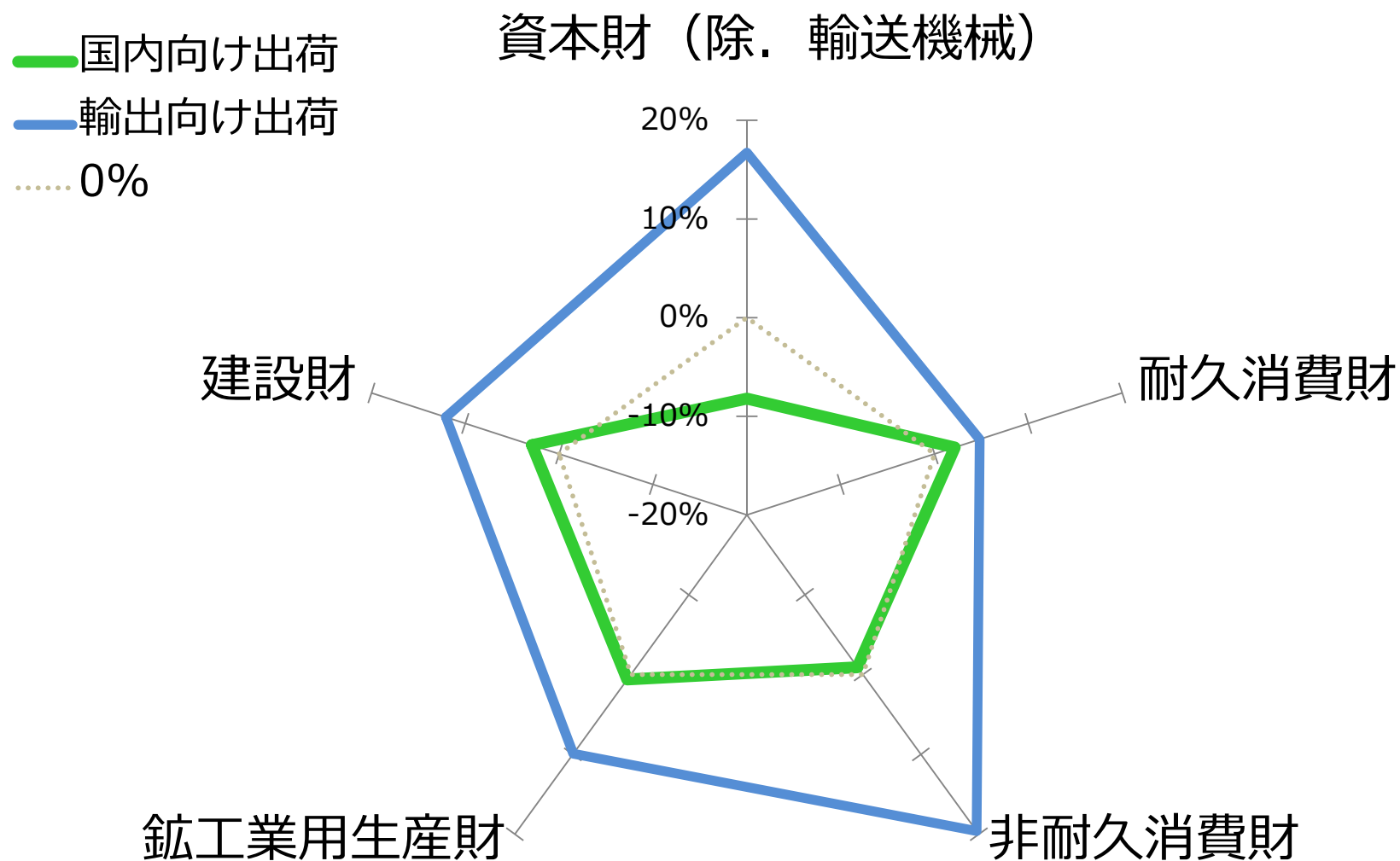


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	5.2	4.02	1.44
生産用機械工業	-0.2	-8.43	7.60
汎用・業務用機械工業	0.6	-0.66	0.60
電気・情報通信機械工業	0.2	-1.51	2.12
輸送機械工業	2.0	1.54	1.37
化学工業(除. 医薬品)	4.0	1.07	1.89

財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	2.5	0.46	2.37
資本財(除. 輸送機械)	0.7	-5.48	5.55
建設財	3.8	2.71	0.77
耐久消費財	1.5	1.60	1.19
非耐久消費財	-0.5	-0.87	0.77

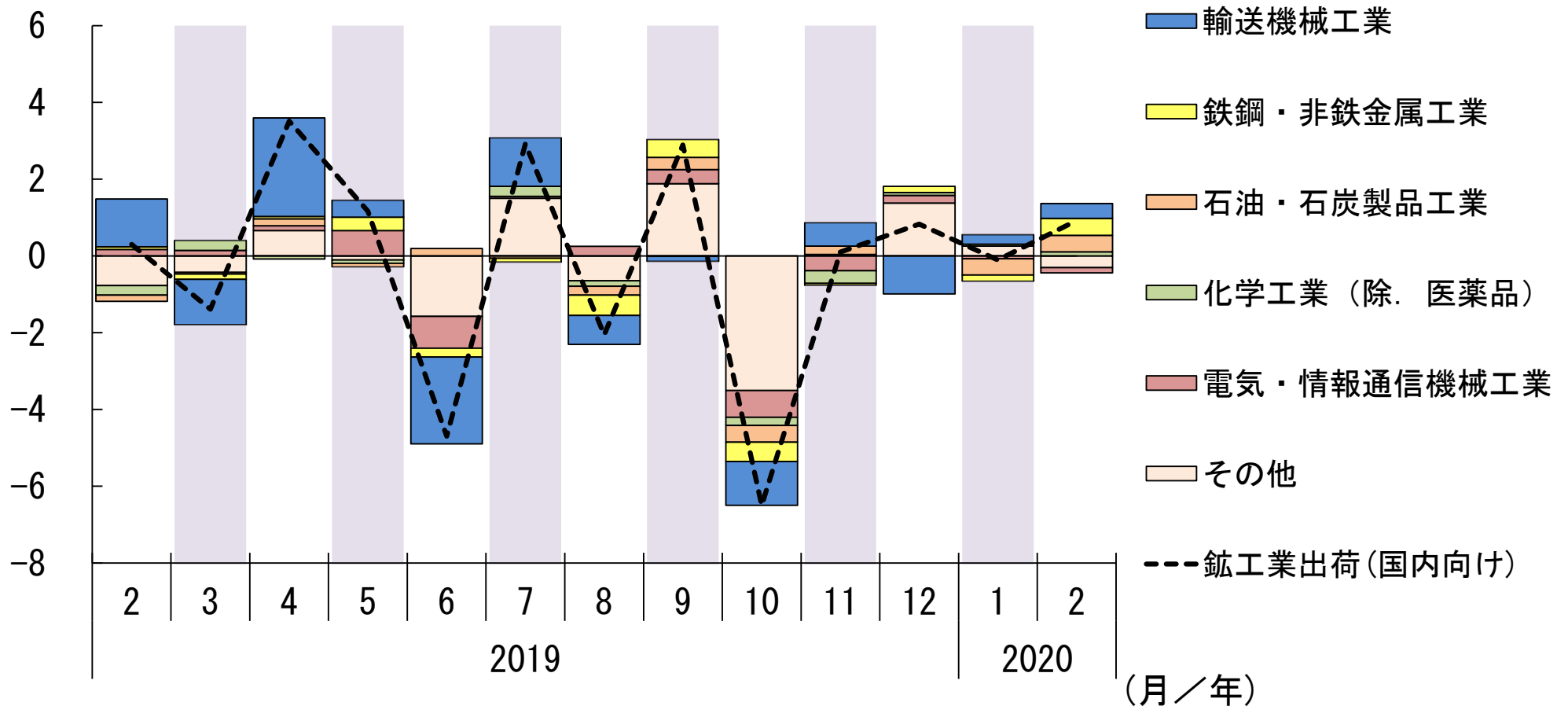
国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2020年2月)



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 2020年2月の国内向け出荷を主要業種別にみると、電気・情報通信機械工業が低下したものの、鉄鋼・非鉄金属工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



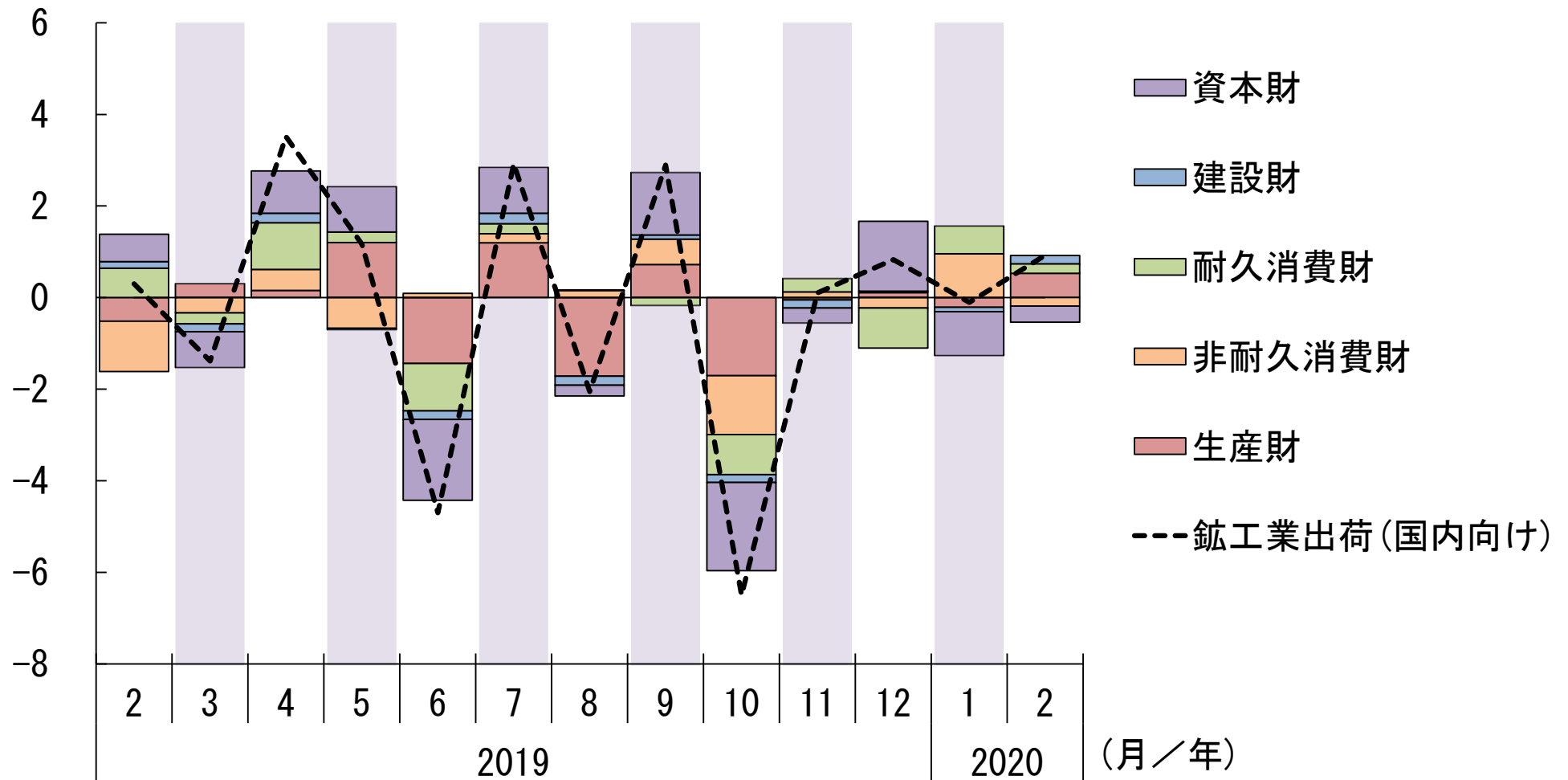
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 2020年2月の国内向け出荷を財別にみると、資本財などが低下したものの、生産財などが上昇。

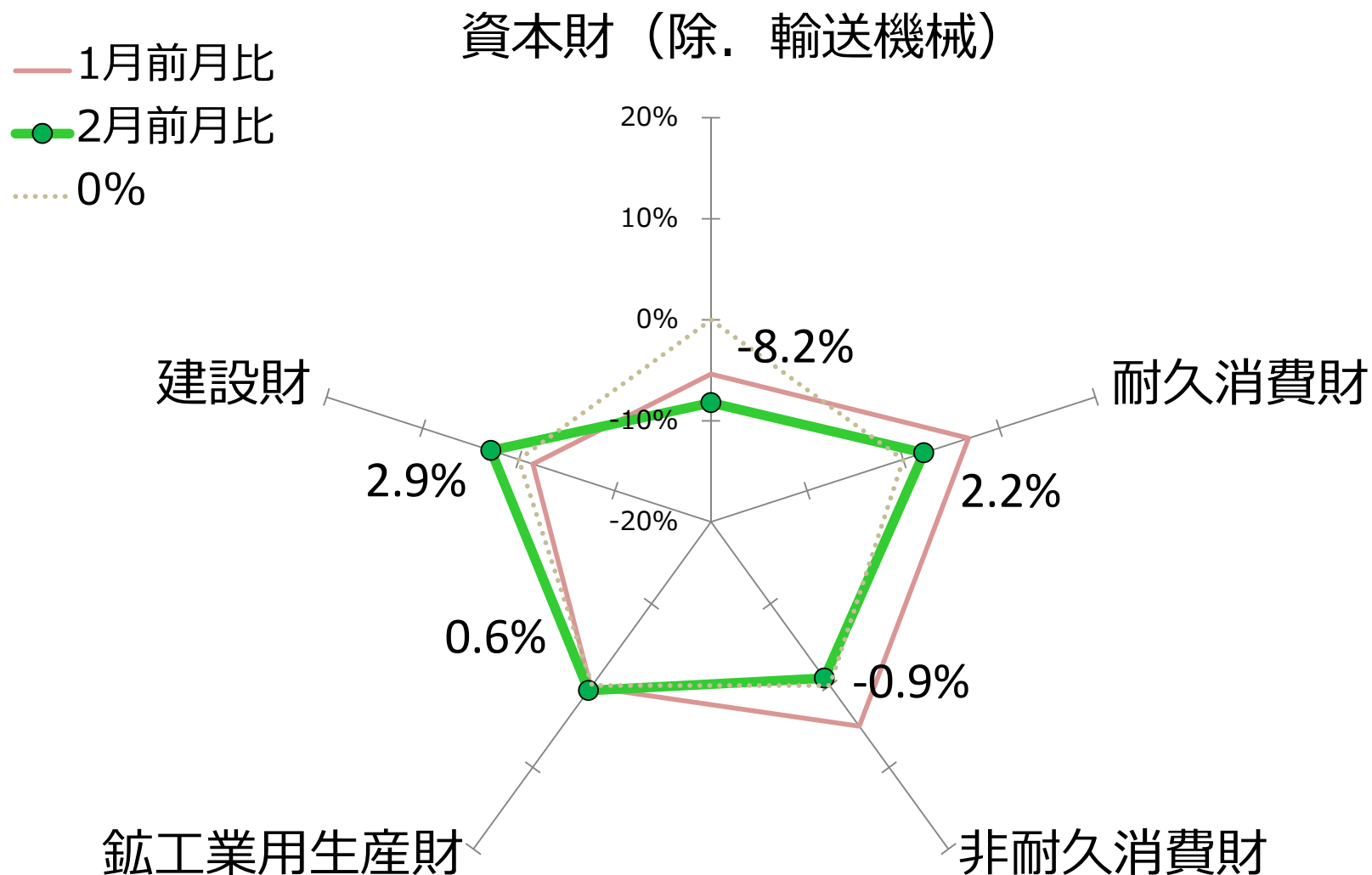
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年2月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	0.9	—
その他用生産財	4.6	0.36
鉱工業用生産財	0.6	0.27
耐久消費財	2.2	0.21
建設財	2.9	0.18
非耐久消費財	-0.9	-0.18
資本財(除. 輸送機械)	-8.2	-0.82

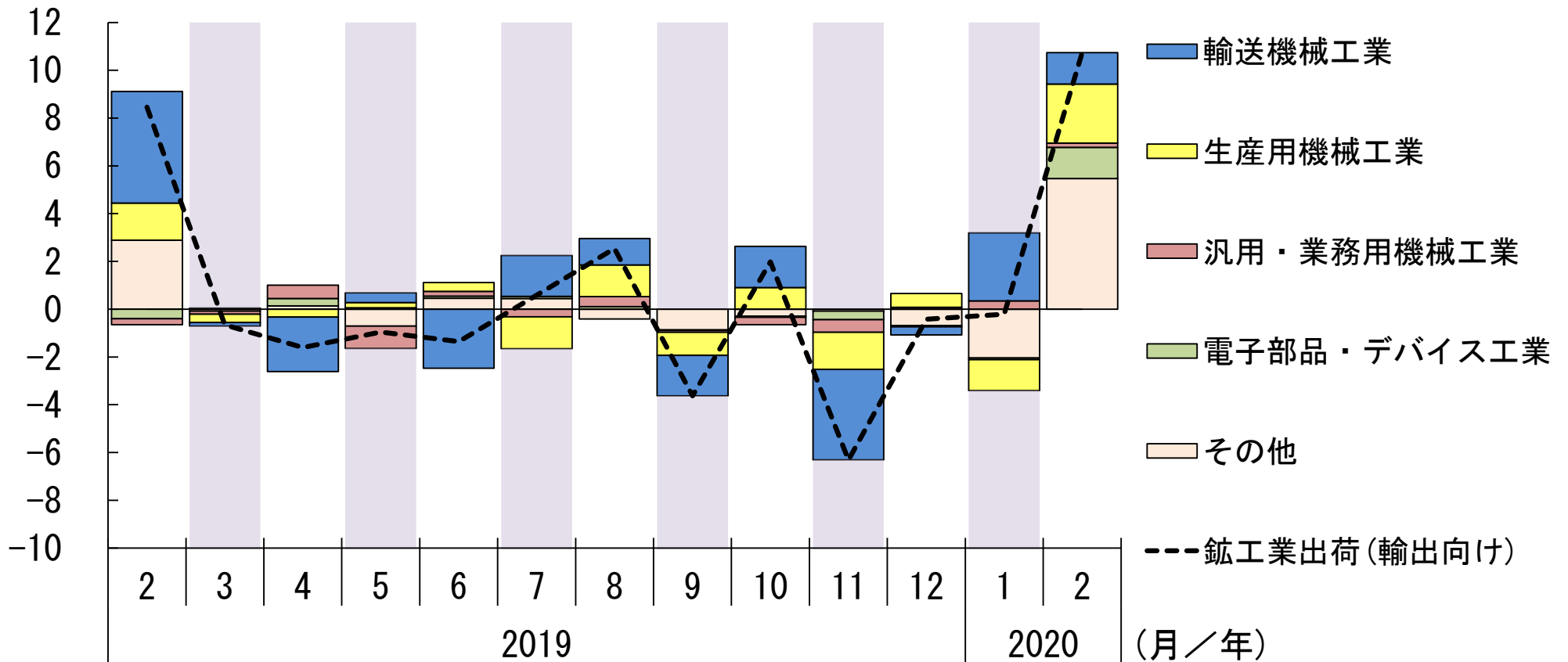
国内向け財別出荷指数前月比の比較 (2020年1月、2月)



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 2020年2月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、生産用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

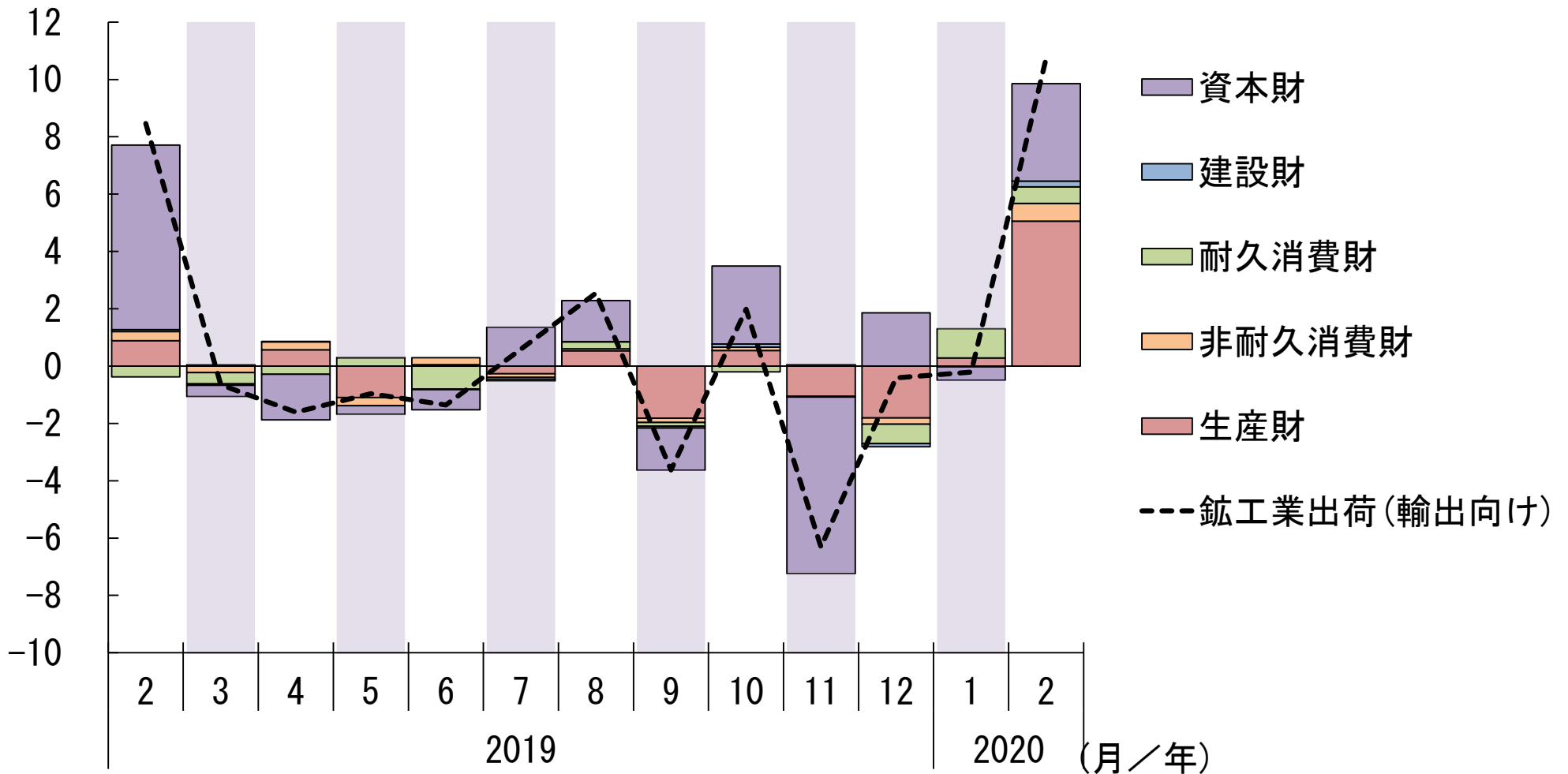


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 2020年2月の輸出向け出荷を財別にみると、生産財などが上昇。

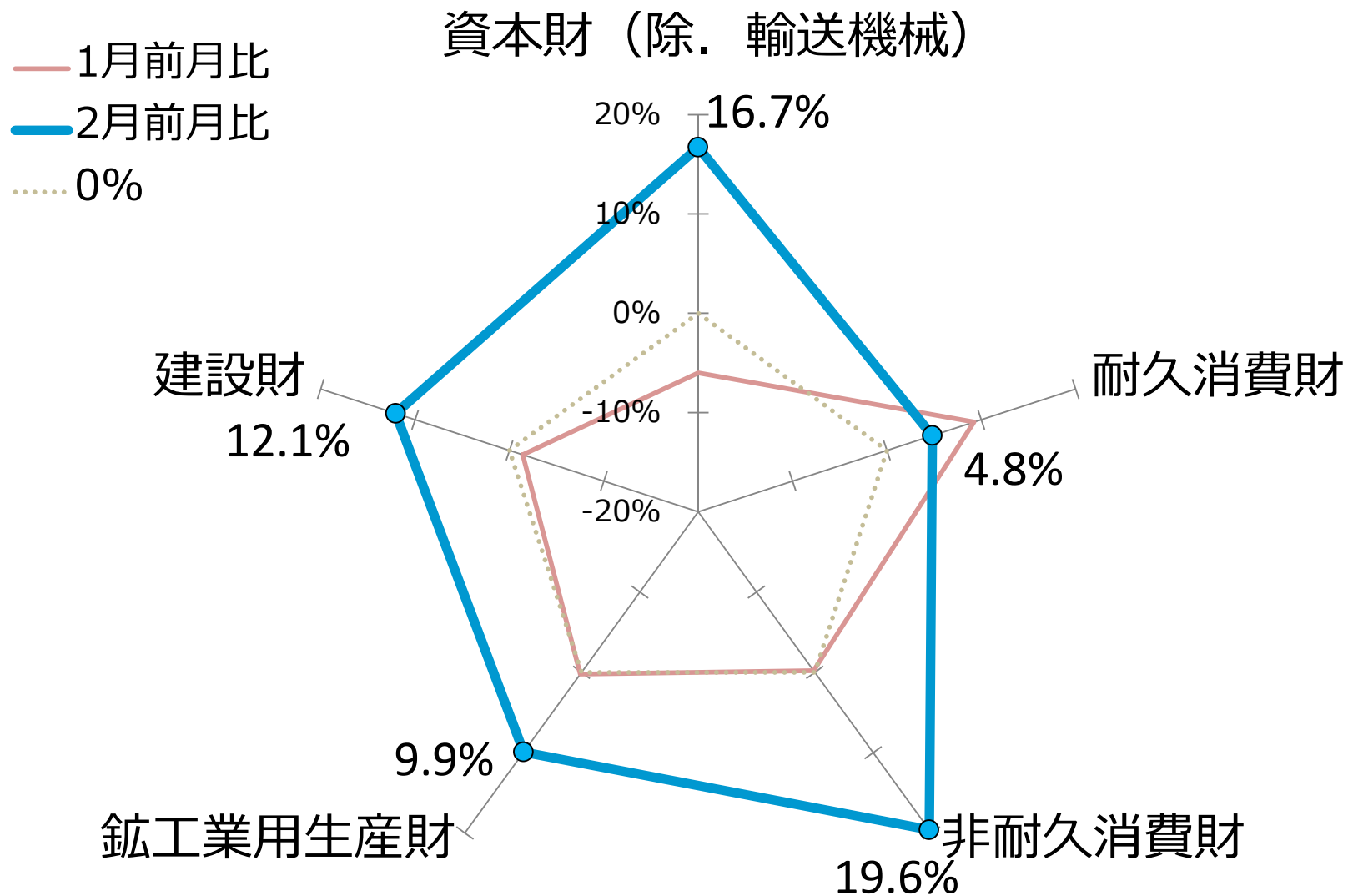
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年2月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	10.7	—
鉱工業用生産財	9.9	5.18
資本財(除. 輸送機械)	16.7	3.16
非耐久消費財	19.6	0.62
耐久消費財	4.8	0.58
建設財	12.1	0.20
その他用生産財	-4.8	-0.11

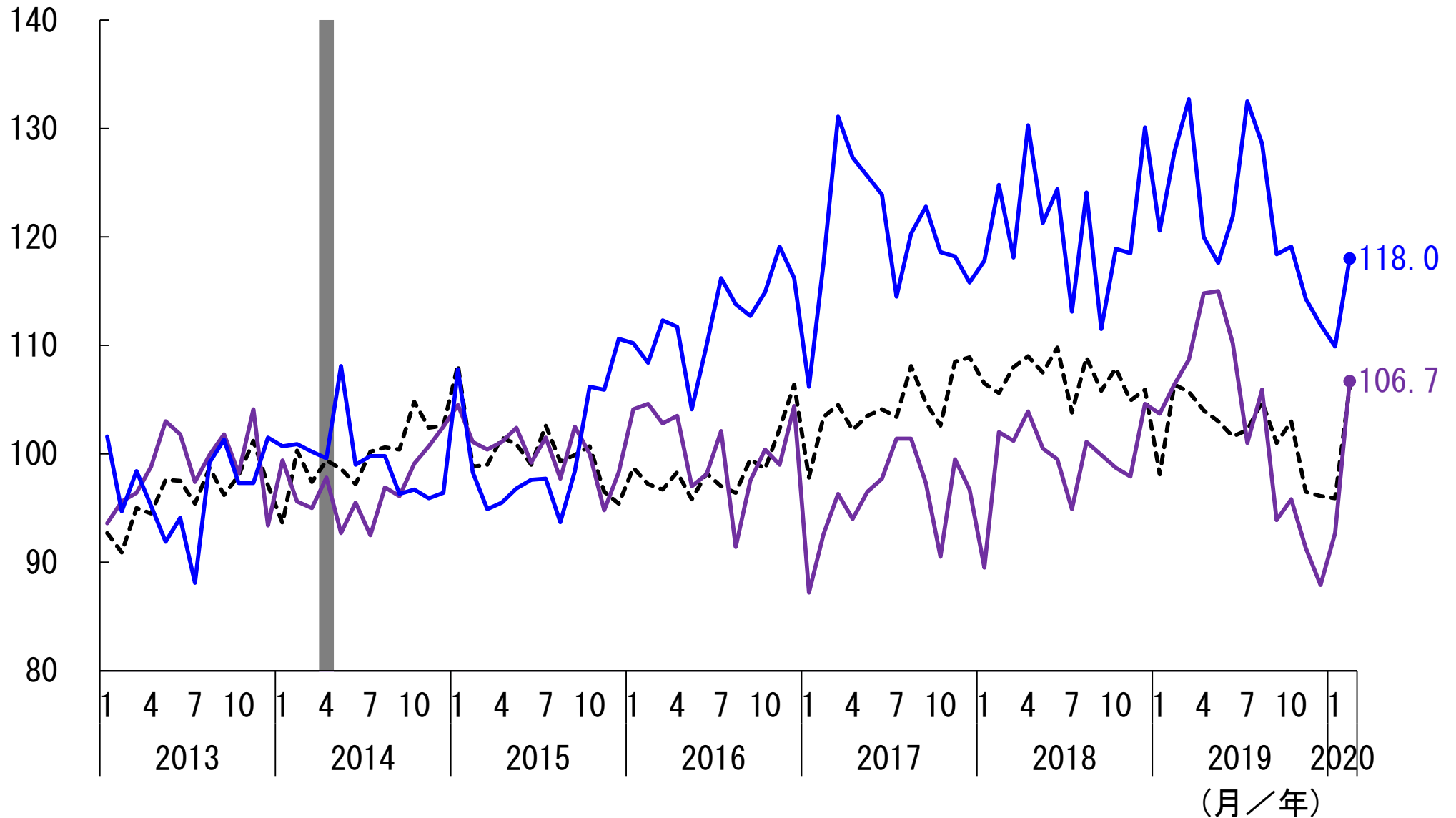
輸出向け財別出荷指数前月比の比較 (2020年1月、2月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

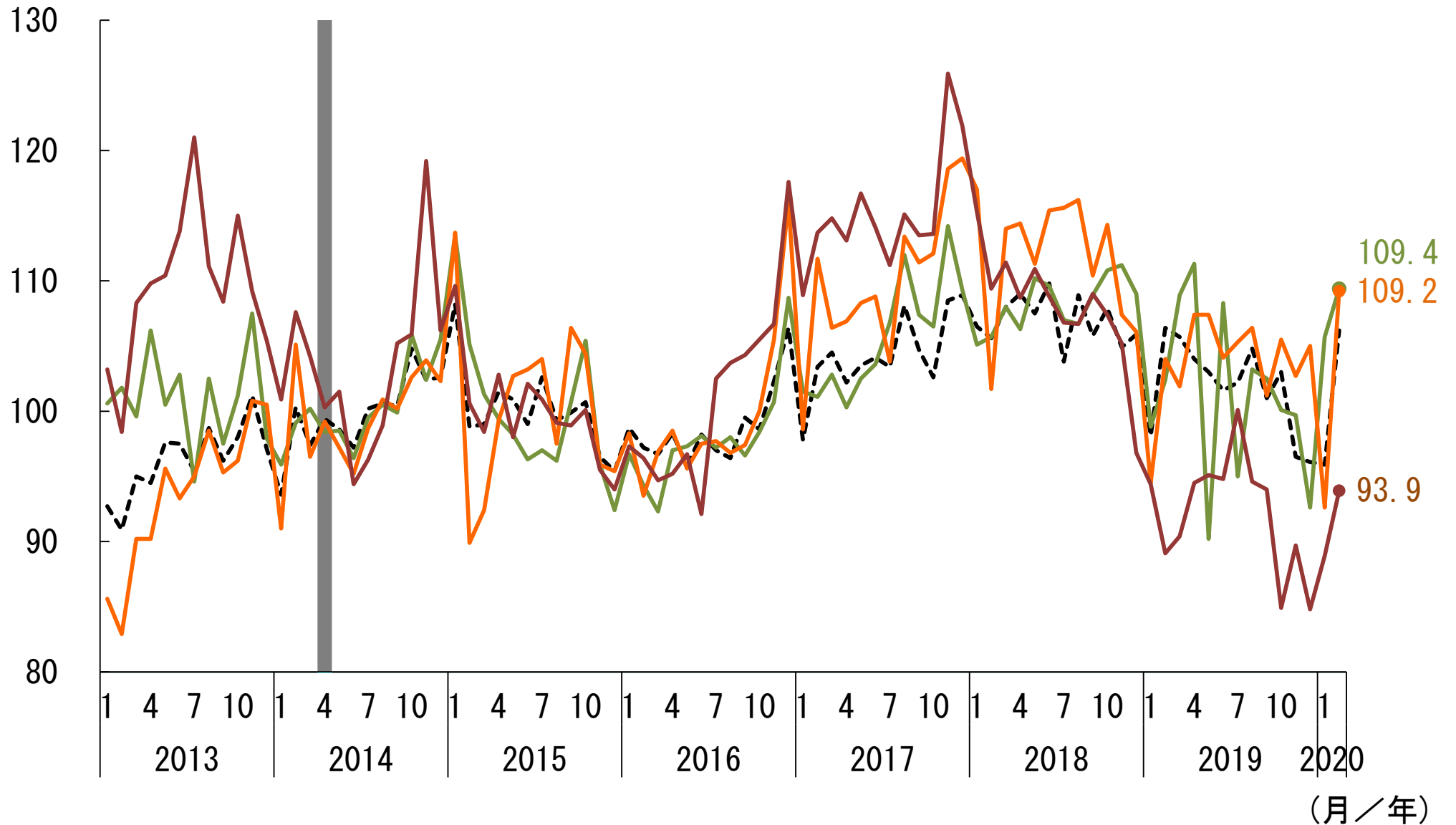
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
 2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

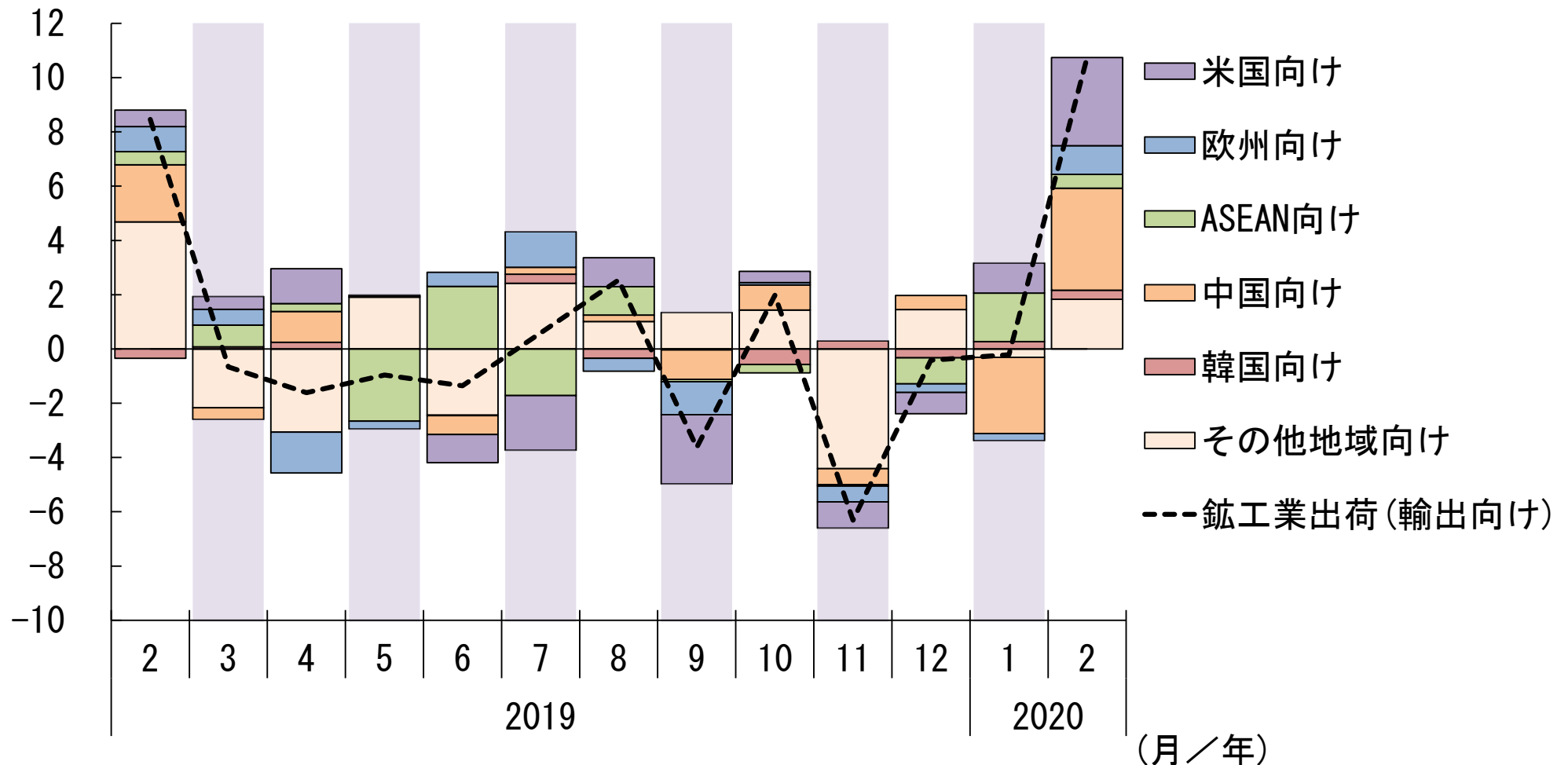


(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

- 2020年2月の輸出向け出荷を地域別にみると、中国向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2020年2月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	94.1 -3.2%	98.2 1.0%	83.0 -14.9%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020.2 94.1 ②2019.11 96.4 ③2013.1 96.9	2019.9 103.1以来 I 2014.3 107.8 II 2014.1 106.6 III 2017.12 104.8	2015年基準最低水準 ①2020.2 83.0 ②2016.4 92.1 ③2019.11 94.8
前月比の動き	2か月連続- (2020.1~当月)	2か月ぶり+ (2019.12以来)	2か月連続- (2020.1~当月)
前月比幅	2019.10 -5.5%以来 ①2014.4 -8.2% ②2018.1 -5.9% ③2019.10 -5.5%	2019.9 2.8%以来 I 2019.4 3.9% II 2014.3 3.6% III 2017.4 3.4%	2015年基準最低水準 ①2020.2 -14.9% ②2014.4 -10.5% ③2018.6 -8.7%

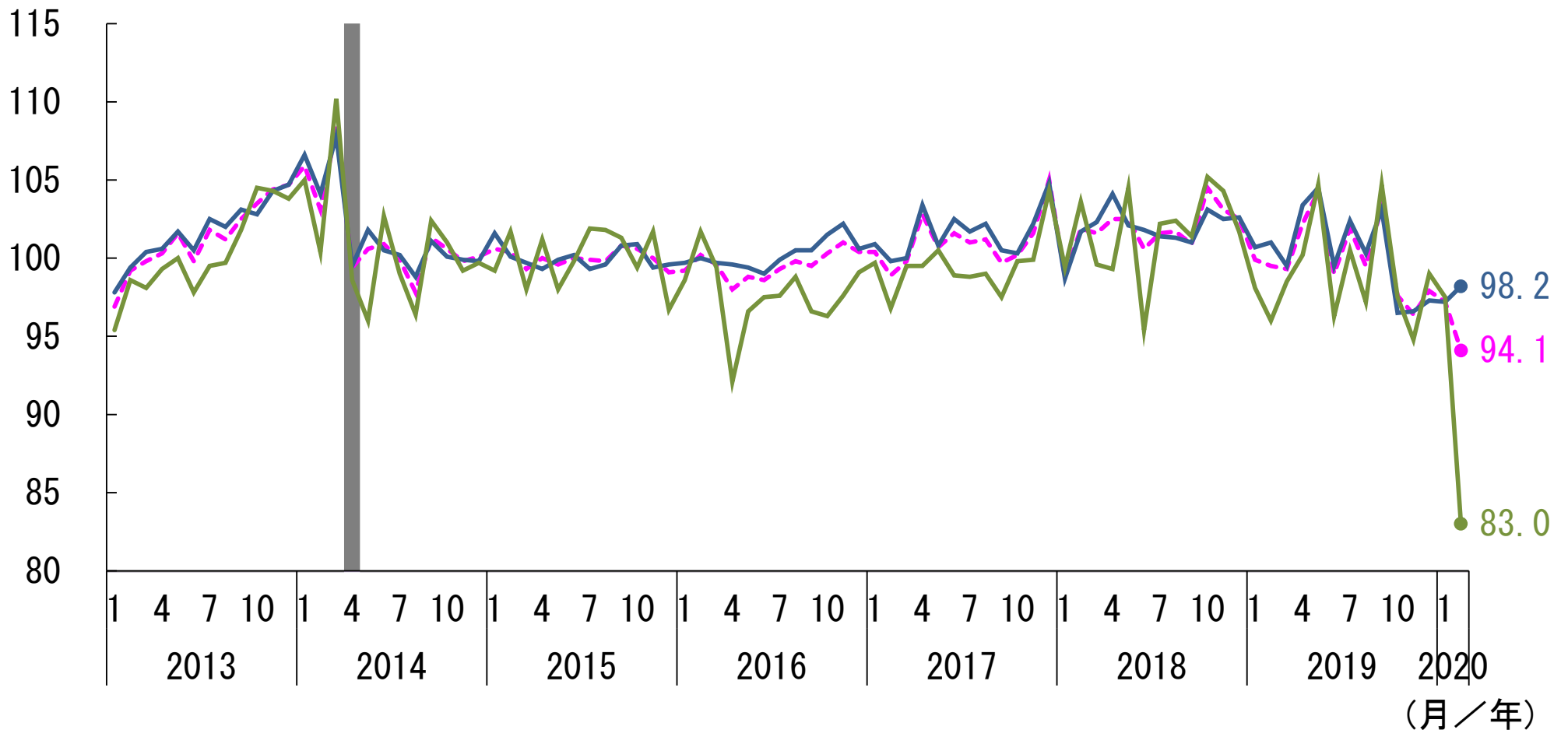
1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業総供給指数の動向

- ・2020年2月の鋳工業総供給指数は94.1(前月比-3.2%)と2か月連続の低下。
- ・内訳をみると、国産は98.2(前月比1.0%)と2か月ぶりの上昇、輸入は83.0(前月比-14.9%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鋳工業総供給 — 国産 — 輸入



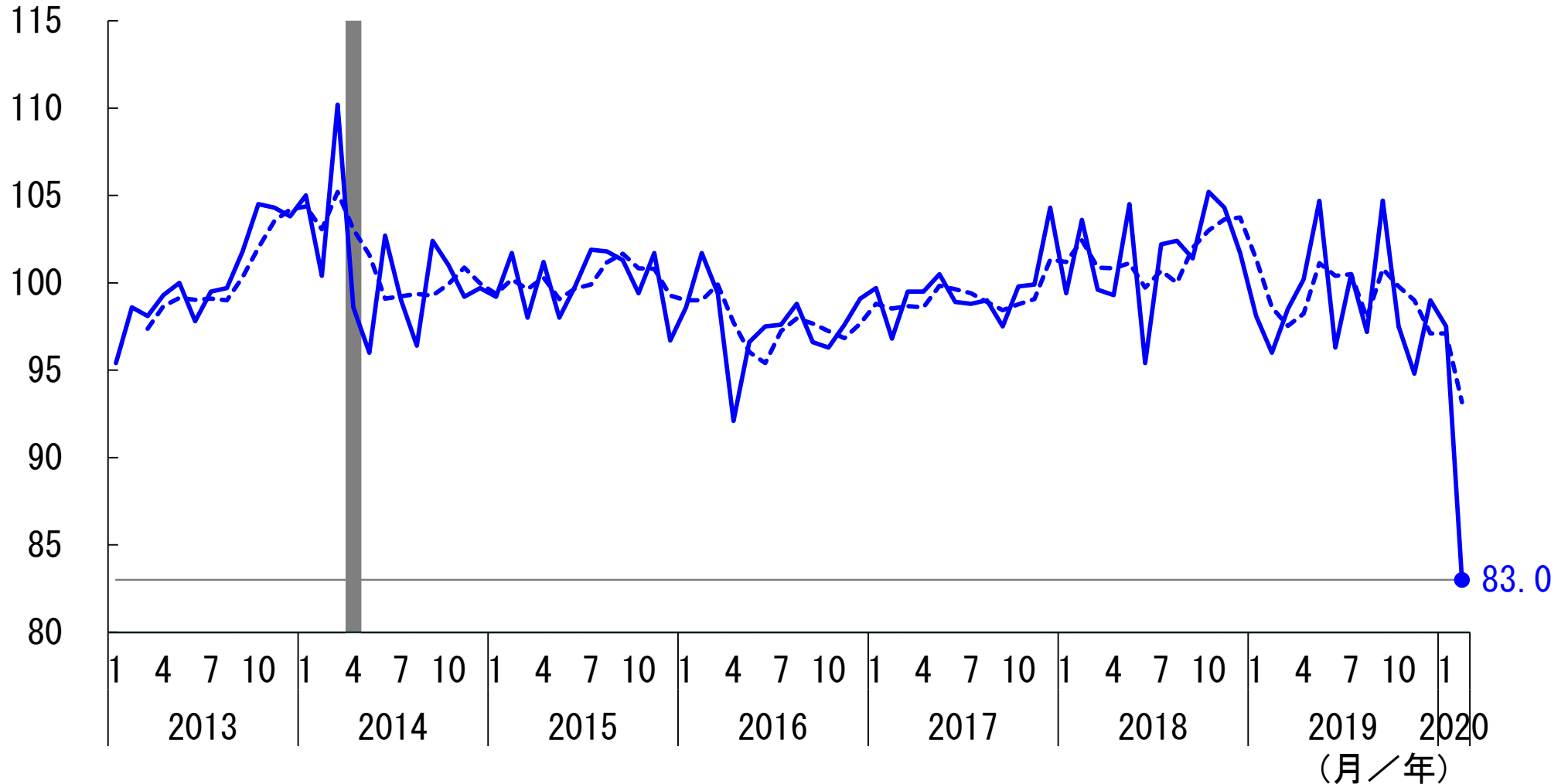
(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸入品供給指数の動向

・ 2020年2月の輸入品供給指数は83.0(前月比-14.9%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 輸入品供給指数 - - - 3か月後方移動平均



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。